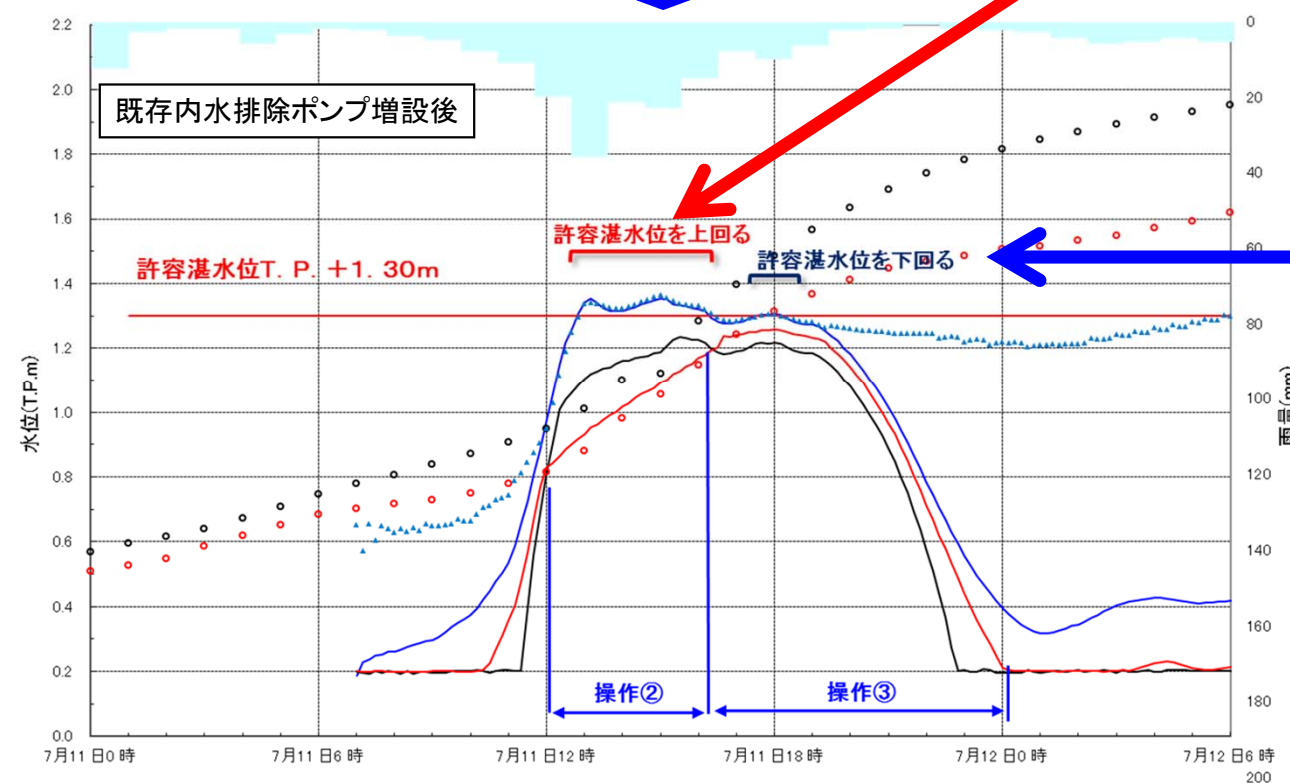
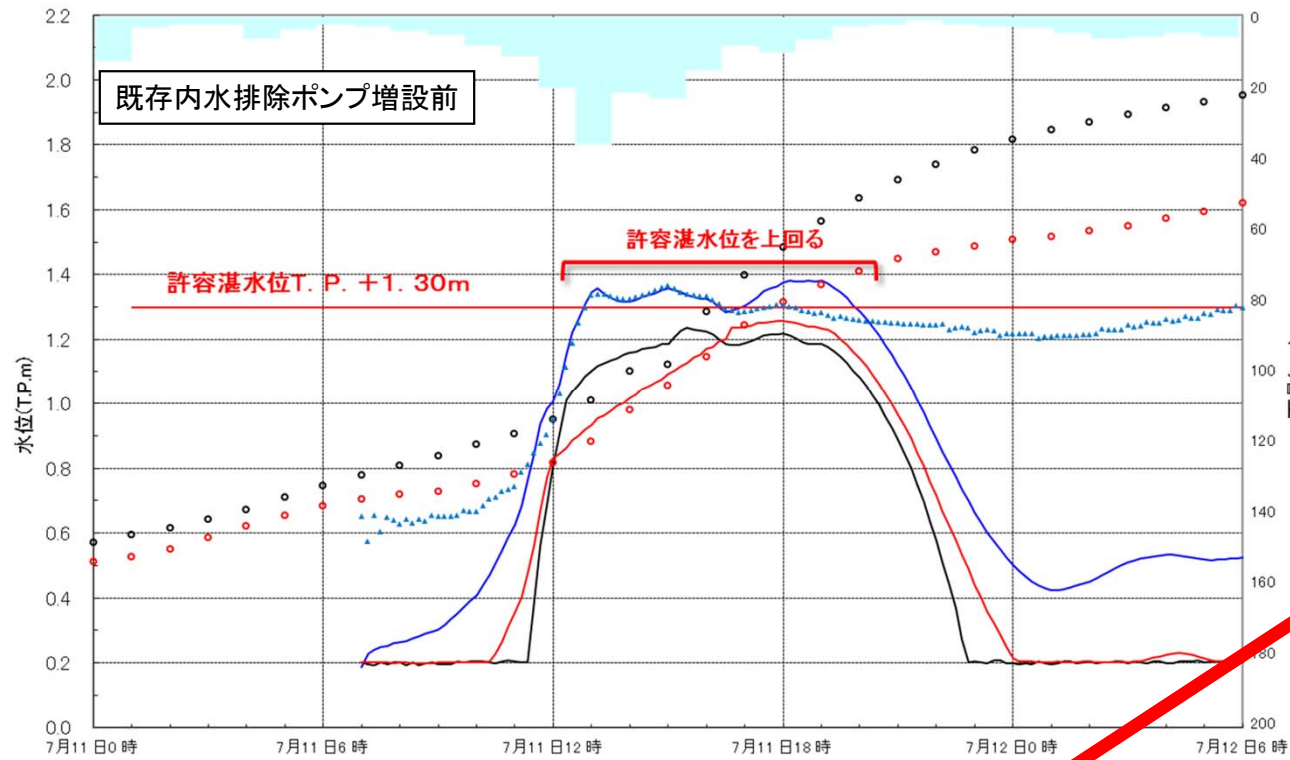


- 大橋川が河川整備計画(今後20年間の計画)で改修された段階では、既存のポンプ(15.3m³/s)に5.0m³/sを増設すると、ポンプが稼働している時には目標の水位を下回ります。
- 近年、市街地の宅地や道路が頻発に浸水を起こしており、早急に内水対策を行う必要があります。
- 上追子川に内水排除ポンプ5m³/sを増設します。⇒【委員会提言に盛り込むことを前提に、別途、早期整備に向けて、具体的な検討を進めます】
- ただし、松江堀川の水位が大橋川の水位より高く、水門を開けて大橋川へ自然排水を行っている時に、目標とする水位を下回ることができません。
- 自然排水時の対策としては、河川改修や放水路、流域対策などによる対応を検討します。⇒資料No.5

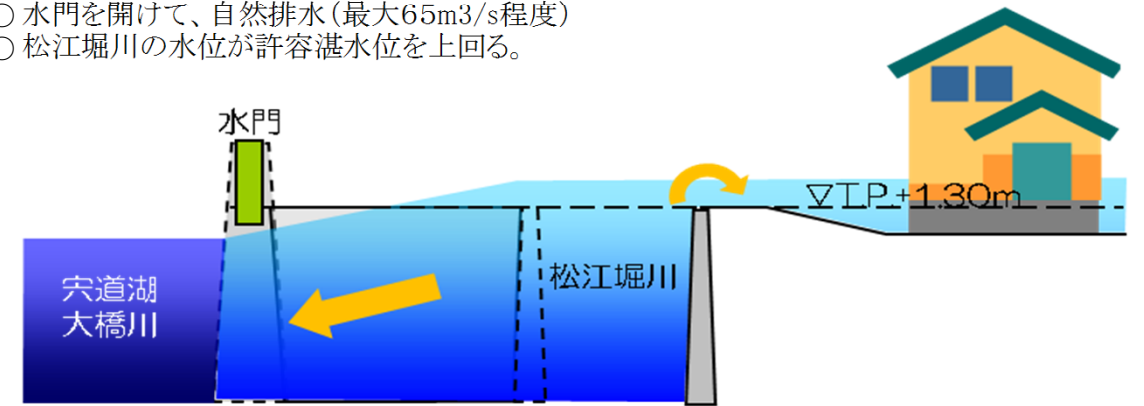
既存内水排除ポンプ(15.3m³/s)に上追子川ポンプ(5.0m³/s)増

外水位(宍道湖・大橋川)： ○ 大橋川水位(末次) ○ 大橋川水位(上追子川) ▲ 朝酌川水位(北田川合流点)
 内水位(松江堀川)： — 末次放水路 — 上追子川 — 比津川合流点



【操作②】

- 宍道湖・大橋川の水位 < 松江堀川水位
- 水門を開けて、自然排水(最大65m³/s程度)
- 松江堀川の水位が許容湛水位を上回る。



【前回検討委員会の課題】

- 水門を開けて大橋川へ自然排水を行っている時は、河川改修や放水路、流域対策などの治水対策による対応を検討する。⇒資料No.5

【操作③】

- 宍道湖・大橋川の水位 > 松江堀川水位
- 水門を閉めて、内水排除ポンプで排水(15.3m³/s+5.0m³/s)
- 松江堀川の水位が許容湛水位を下回る。

